



新とちぎ国際戦略

～世界とつながり、選ばれるとちぎ～

2026—2030

栃木県



「世界とつながり、選ばれるとちぎ」を目指して

現在、世界情勢は、保護貿易主義の拡散、地政学リスクの高まり、多極化の進展、DX・GXへの対応等が複雑に絡み合う中で、より一層不確実性を増し、戦後構築されてきた国際経済秩序は転換期にあります。

また、我が国においては、生産年齢人口の減少と高齢化が進み、国内市場の縮小につながる可能性が指摘されており、海外需要の取り込みは重要な課題となっています。一方で、外国人住民や外国人労働者は増加傾向にあり、県内においても地域経済を支える欠かせない存在となっていますが、その受け入れに関しては依然として多くの課題があります。

このような中、本県が持続的に発展していくには、こうした変化や課題に対して、関係者がビジョンを共有し、適時適切に対応しながら、世界に向けて挑戦していく必要があることから、今後5年間の本県が目指す国際化を推進するための考え方や取組の方向性等を示す「新とちぎ国際戦略」を策定しました。

本戦略では、「世界とつながり、選ばれるとちぎ」を目標（目指す姿）とし、その実現に向け、「強みを生かす」、「連携する」、「挑戦する」の3つの基本姿勢で、「海外の需要を取り込み強い経済の創造」、「外国人材の確保と育成」、「外国との関係強化」、「日本人と外国人が共生する社会の実現」の4つの基本戦略に取り組むこととしています。

また、今後5年間に於いて、重点的に取り組む事業を「重点プロジェクト」とし、対象国・地域を定め、毎年見直しを行いながら施策を展開することとしております。

本戦略の策定に際しまして、熱心に御審議いただきましたとちぎ国際戦略協議会の委員の皆様、貴重な御意見をいただきました県民の皆様、並びに、各種調査等に御協力いただきました有識者、専門家、企業の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

今後は、本戦略に基づいて「世界とつながり、選ばれるとちぎ」の実現を目指して取り組んで参りますので、県民や県内企業の皆様をはじめ関係各位の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和8（2026）年3月

栃木県知事 福田 富一

目次

- I 策定の趣旨・位置付け・推進期間
- II 取り巻く環境と課題
- III 栃木県が目指す国際化
- IV 基本戦略
- V 重点プロジェクト
- VI 推進体制
- VII 戦略の推進とSDGs
- VIII 策定の経過等